



見る
聞く
さがす
夢がある

日立市民の
生涯学習

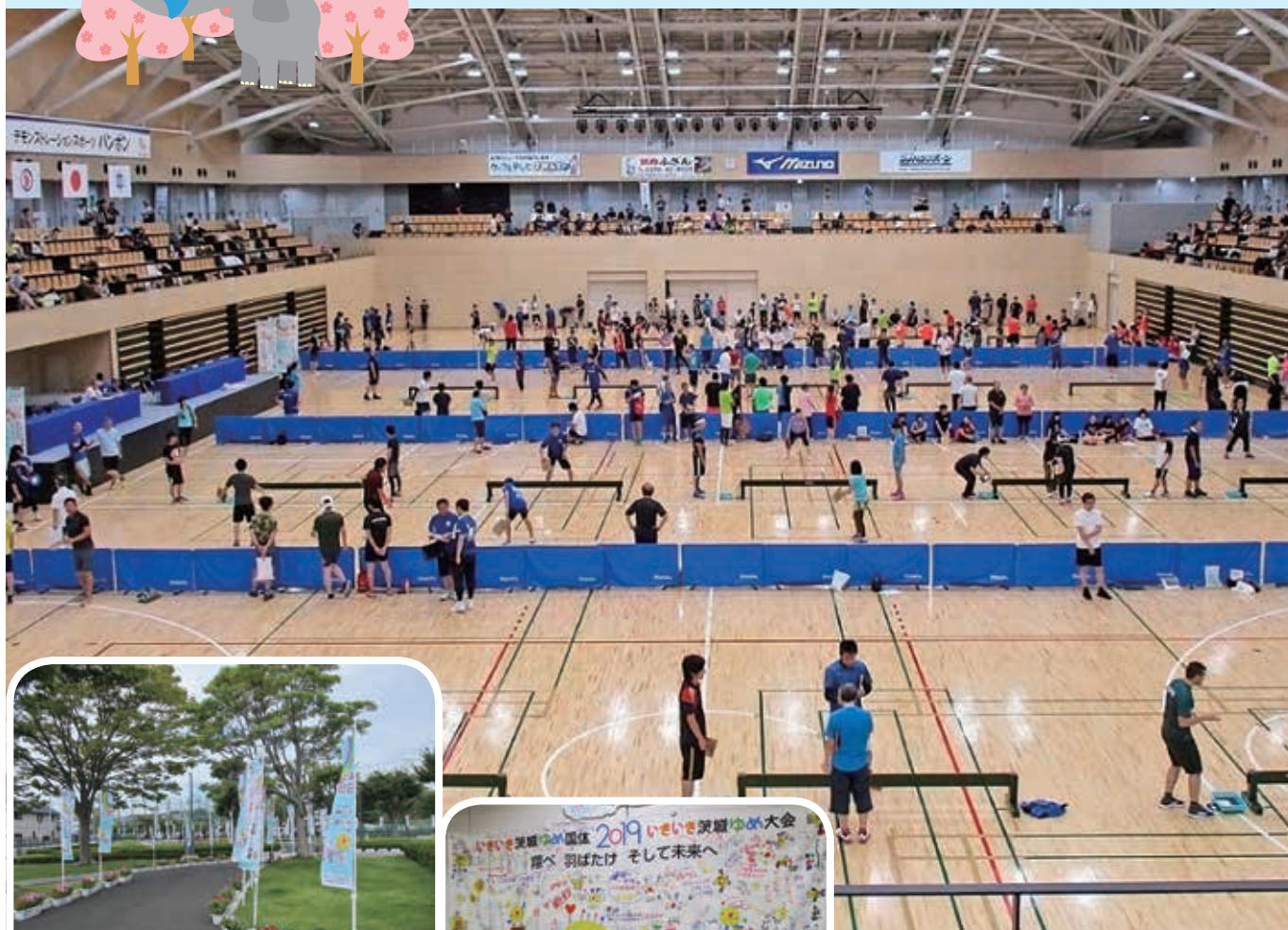
百年塾ひろば

第138号 発行日/2019.9.20
発行/ひたち生き生き百年塾推進本部
編集/百年塾情報部会

まもなく始まります！

天皇陛下御即位記念

いきいき茨城ゆめ国体2019
いきいき茨城ゆめ大会2019



↑日立市池の川さくらアリーナ
寄せられた応援メッセージ→



「いきいき茨城ゆめ国体・ゆめ大会2019」がいよいよ開幕します。
45年ぶりに茨城で開催されるのに先がけ、日立市池の川さくらアリーナで、デモンストレーションとして日立発祥のパンポンと、会期前開催正式競技の新体操・体操競技が行われました。

【P 2】

- 百年塾フェスタ&子どもまつり
- 市制施行80周年

【P 3】

- 常陸国風土記を訪ねてみよう
- 映画で見る60年前の日立

【P 4】

- 市民教授が大活躍

「夏休みワクワク講座」

百年塾フェスタ&子どもまつり2019

つなごう 広めよう 日立の“いいね”

～夢にはばたけ 未来に輝け! 元気ひたちっ子～

今年もいっしょに



10月20日(日)、「百年塾フェスタ&子どもまつり2019」が開催されます。

昨年、初めて日立市子ども会育成連合会の「子どもまつり」と共同開催した百年塾フェスタは、子どもも大人も楽しめるブースやテントが並び、家族連れなど多くの人で賑わいました。

これまで以上に子どもたちの歓声が響く会場は、子どもまつりとの連携ならではの成果であり、互いの良さを活かしながら協力し合うことの大切さを学びました。

今年度もさらに連携を深めながら、より楽しいフェスタとなるよう準備を進めています。

楽しみながら日立の“いいね”を実感



いきいき茨城ゆめ国体・ゆめ大会のデモンストレーションで披露され、市民が楽しんだ日立発祥のパンポンや、日立が誇るラジオ体操、大人気のハロウィンパレードなど誰でも参加できる楽しい企画

がたくさんあります。元気な日立の子どもたちによるダンスや発表なども楽しんでください。

—— 内 容 ——

《みんなで楽しむひたちの秋!》

- ・みんなでパンポン
- ・日立の誇り ラジオ体操
- ・手作り工房&フリーマーケット
- ・親子で楽しむ
「いきいき子ども劇場」
- ・食いしん坊集まれ!

ひたちグルメマーケット

- ・ひたちのご当地キャラと遊ぼう
- ##### 《キラメキと躍動! 日立の“いいね”》
- ・秋空に舞う「ひたち舞祭り」
 - ・集まれ! 遊びの達人
(バルーンアート、竹とんぼけん玉など)
 - ・各種少年団の参加と発表

●と き **10/20(日)**
10時～15時

●ところ 日立シビックセンター新都市広場・ギャラリー・マープルホール、パティオモール周辺

・盛り上がり! ハロウィンパレード & ステージショー

《感動とドキメキ ひたちの秋!》

- ・市民教授の展示、体験コーナー
- ・魅力たっぷり★多彩なステージ
- ・ジオパークの恵みを活かそう
- ・チャレンジゲームdeハッピー♪スタンプラリー

《みんなでつなごう!

日立の“いいね”

- ・お楽しみ大抽選会 ほか

フェスタを支える若い力

フェスタは、小・中学生から高校・大学生のみなさんの活躍の場でもあります。毎年ボランティアとして、会場内のさまざまな場所でフェスタを支えたり盛り上げてくれています。

高校野球の応援や国体ダンスで活躍の明秀学園日立高校ダンス部「ブルーフェアリーズ」のステージや、日立二高の「お花のじゅうたん」もぜひご覧ください。



昨年のフェスタ会場

市制施行 80 周年を迎えました

9月1日(日)日立市は市制施行80周年を迎え、記念の式典が日立市民会館で開かれました。

日立市は1939年(昭和14年)日立町と助川町が合併して誕生しました。

式典では小川春樹市長が、ものづくりのまちとして発展を遂げた日立市の歴史を辿り、「過去に学び今に努力し、先人たちから受け継いできた地域の宝であるひたちらしさを磨きつつ、誇りを持ってふるさと日立を次の世代に着実に

引き継いでいきたい」と述べました。

記念表彰は、まちづくりの発展に功績のあった7部門141人と284



たくさんの市民も出席しての記念式典

団体が表彰され、ひたち生き生き百年塾推進本部は教育文化功勞表彰を受賞しました。

続いて、市民福祉の充実・生活環境の向上・産業の振興・善行などに取り組んだ13人・136団体に感謝状が贈られました。

また、日立市の魅力を広く内外に発信するための「ふるさと日立大使」として、歌手で吉田正音楽記念館名誉館長の橋幸夫さん、世界的建築家の妹島和世さん、映画「ある町の高い煙突」に主演した井出麻渡さんら日立市出身または日立市にゆかりのある8人に委嘱状が手渡されました。

常陸国風土記の世界を訪ねてみよう ①

久慈郡と多珂郡 (日立市)

今から約1300年前の奈良時代初頭、全国各地で風土記編纂が行われました。「常陸国風土記」は現在の茨城県をまとめたもので、当時の様子を知る貴重な資料です。「百年塾ひろば」では常陸国風土記に記載されている日立市に関わることがらを、今後順次紹介していきます。

ひたちのくにふ ど き 常陸国風土記とは

奈良時代初頭、元明天皇は諸国に風土記編纂を命じました。風土記は、当時の地名や山・川の名前の由来、特産物や昔からの言い伝えなどを記録した地誌です。編纂を命じた全国60余の国々の風土記で、現存するのは5か国で、その中の1つが常陸国風土記です。

風土記には茨城の地について「常陸の国は広く原野も肥沃で開墾が進んでいる。水陸の産物は豊富で養蚕も盛んである。山と海に接し自然の恵みが人々を豊かにしており、昔から『常世の国(理想郷)』とはこの地に違いない」と紹介しています。現在の茨城県は農産物の豊富な地域ですが、昔も豊かな地域だったようです。

地名の由来 久慈郡・多珂郡

【久慈郡(くじのこおり)】

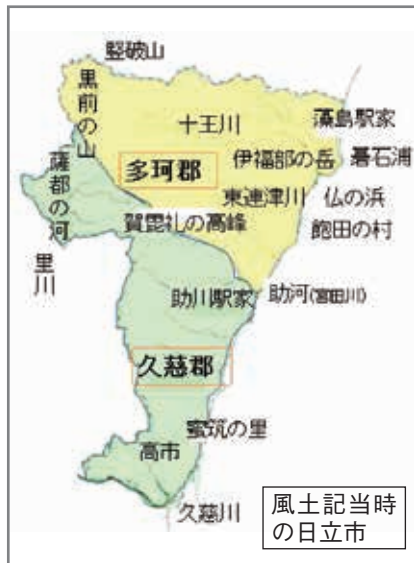
当時の日立市は助河(すけがわ：今の宮田川)を境に、南が久慈郡(くじのこおり)、北が多珂郡(たかのこおり)に分かれていました。

地名の由来は風土記では「古老の話では郡家(こおりのみやけ：郡の役所)から南、近くに小さな丘があり、その形が鯨に似ている。そこで倭武天皇は久慈と名付けた」とあります。

郡家から南にある丘の候補地としては、現在の常陸太田市の「鯨が丘」の台地という説があります。また久慈町の「離山」も候補に上がっています。離山は鯨が丘より規模は小さい台地ですが、久慈川河口を見おろす重要な拠点だったようです。

【多珂郡(たかのこおり)】

風土記では「多珂郡は東に海、西に高い山々があり、古老の話では『成務天皇の時代に国造(くにのみやつこ)になった建御狭日命(たけみさひのみこと)が初めてここにこられた時、山々が険しいことから多珂国と名付けられた』



とされている」とあります。当時の地名は2文字とし、嘉字(縁起

の良い字)を使うように決められていたので、「高」を分けて「多」と「珂」にしたようです。ここで嘉字である「賀」の代わりに「珂」を使ったのは、この字には「玉に次ぐ美しい石」の意があるからと言われています。風土記の藻島駅家(めしまのうまや)の条には「常陸にある美しい碁石はこの地にのみある」と記されており、地名に珂を当てたものと推察されます。

風土記の時代と現在とでは生活様式も文化も大きく変化していますが、私たちが普段使っている地名の源は、悠久の時の流れの中でも確かに息づいているようです。※風土記の記載には諸説あります。

「今日に生きる」 映画で見る60年前の日立

■とき：10月6日(日)

①午前10時～②午後1時30分～

■場所：日立武道館(旧共楽館)

1959年に日活で制作、公開された石原裕次郎主演の日本映画です。日立鉱山など日立オールロケで、懐かしい昭和の日立の映像が見られます。

※詳しくは「認定NPO法人

共楽館を考える集い事務局」

TEL

21-4884



私たちは百年塾運動を応援します 2019.6.4～9.2(敬称略)

【団体】日立市建設業協会
藤和建設(株)、日立土木(株)
(株)金成物流、(株)山森
(株)白土工務店
(一社)茨城県日立市医師会
(株)ゆなご教材舎
大成印刷(株)
日立高速印刷(株)
(株)日立ライフ

(株)日青プラント
三菱日立パワーシステムズ(株)
(株)日立製作所日立事業所
(株)JWAY
日立北ロータリークラブ
カフェ・ヌーヴォー
日立ブルーライオンズクラブ
日立市フォークダンス連合会
【個人】龍田郁子 船渡川俊
渡部正敏 黒澤秀子 荒岡学
鈴木吉一 根本弘道 嶋野末吉

疋田節子 佐藤恵理子 今村温
神永敏光 弓野典子 阿部和宏
田村久 内藤達郎 永山幸子
綿引奈々 吉田ケイ子 櫻村淳
海野洋衣 田山恵子 菊池和子
斉藤直子 豊田ハマ 磯崎孝子
高山セツ子 須田久美子
園原愛子 白石知子 山田啓子
鼻和貴子 和田智子 今橋知江
鈴木米征 磯崎友之 根本博史
畑谷和代 児玉裕文 笹川孝雄

市民教授が大活躍 ～夏休みワクワク講座～

8月9日(金)、教育プラザで親子で楽しくからだを動かしたり絵手紙の体験をする「百年塾いきいきワクワク講座」が開かれました。親子合わせて30名が参加し、前半は市民教授の神定祐亮さんを講師に、大好きな人に送る絵手紙作りです。

題材は自由で、すぐに絵を描き



心を伝える絵手紙



親子で踊って楽しいね

始める子や、お母さんのスマホで調べて何を描くか思案する子、クレヨンの色をいろいろ試してみる子など、みな楽しそうです。

後半は、同じく市民教授の大川貴世美さんを講師に、子どもも大人も楽しく踊れるズンバです。すぐに覚えてノリのいい子どもたちに対して、最初はちょっとぎこちない動きのお母さんたちでしたが、荻野目洋子の名曲「ダンシングヒーロー」が流れると見違える程キレのいい動きになり子どもたちはびっくり。この講座は今年で2年目ですが、若い講師のコラボレーションで元気で楽しく丁

寧な講座が好評です。参加者からは「コーヒーの絵の具で描いた絵は良い香りがした／子どもとのできた夏の思い出ができた」などの声が寄せられ、今年もみんなの心弾む企画となりました。

市民教授登録

2019.6月～7月に登録の方(敬称略)

- 赤津順子／旭町
(テーブル茶道：有結流)
- 宮本苗美／東滑川町
(歯固めジュエリー・UN-DECORロゼット)
- 神定祐亮／東大沼町
(絵・似顔絵、コーヒー・淹れ方等)
- 別所泰典／水戸市元吉田町
(国際・エネルギー)
- 齋藤ひろみ／諏訪町
(認知症予防セルフケア)

よろしく 市民教授・まち案内人です！

百年塾には、あらゆるジャンルに約270名の市民教授が登録しています(8月末現在)。

笑顔で踊れば幸せに

かにあきえ
可児暁恵さん(チアダンス)



結婚を機に昨年3月に日立へ移り、市民教授に登録した可児さん。チアダンスは高校1年の時に野球部の応援をしたくて始めたそうです。(石川県の星陵高校出身で松井秀喜選手は5歳先輩)。

その後プロのチアリーダーを経て、現在、チアダンスのスクール事業やトップチームの派遣事業など日立でも活躍中です。

チアダンスは年齢制限がなく、昨年8月に発足した日立のスクールには現在子どもから大人まで35人の生徒がいます。市内外のお祭りやコミュニティのイベントなどに参加しており、依頼があればチームで出演してくれるそうです。

いつも笑顔で踊れることがチアダンスの魅力であり、笑顔でいれば幸せな気分になりますと可児さん。子どもはもとよりシニア世代にも広め、日立を笑顔あふれる元気なまちにしたいと話します。

丁寧な準備とおもてなしの心で

かのかずお
鹿野和夫さん(日立のまち案内人)



平成24年に日立のまち案内人募集講座を受講したことがきっかけで、翌年に日立のまち案内人に登録した鹿野さん。北海道出身で日立のことは知らないことがいっぱいあり、それらを調べながら初めは先輩のまち案内人と一緒に案内を始めたそうです。

特に神社仏閣に興味を持ち、現在は日高町にある奥津説神社の幕末から明治にかけて奉納された三十六歌仙の絵馬(※注)の歌を勉強中。県内では絵馬が全て揃っているのは奥津説神社のみとのこと。

まち案内人としては受け売りではなく文献などをよく調べ、バックグラウンドにプラスアルファを持つことを心がけています。参加者の喜ぶ顔を見るのが嬉しいと鹿野さん。まち案内の準備と自身の趣味が見事に一体化しているようです。

(注：三十六歌仙絵馬とは藤原公任の『三十六人撰』に載っている平安時代の和歌の名人36人の肖像と歌)

■百年塾サロン(窓口)では 以下の業務を行っています

- 百年塾推進委員登録の受付
- 市民教授の登録、紹介
- 講座・講演の受付
- 生涯学習に関する相談

■ひたち生き生き百年塾推進本部

百年塾サロン(日立市教育プラザ1F) 〒317-0064 日立市神峰町1-6-11

☎0294(23)9165 FAX 24-5200

E-mail iki100j@net1.jway.ne.jp

ホームページ <http://www.net1.jway.ne.jp/iki100j/>

【事務局】日立市教育委員会 生涯学習課

〒317-8601 日立市助川町1-1-1 ☎050-5528-5126

